

八峰コミスク通信

地域と学校の連携・協働
地域の皆さんと学習した各校の活動を紹介しします

八森小学校

一年 きまももツキング (十一月十四日)

J A食農体験活動で、さつまいもクッキングを行いました。十月に学校の畑で収穫したサツマイモを使って、「やかないスイートポテト」と「あげない大学いも」を作りました。

包丁でサツマイモを切ったり、木べらで裏ごししたり、初めて経験する作業に歓声をあげながらも、全員が、楽しく真剣に料理に取り組みました。

できあがった手作りスイーツをおいしくいただきました。スイートポテトをケースに詰めて、家庭へのお土産もできました。
なお、三年生は、二十八日の食農体験活動で、豆腐づくりとおからドーナツづくりを体験しました。

四年生 人権教室 (十一月二十四日)



能代山本地区の人権擁護委員の方、十一名が参加してくださいました。委員の方々が役割分担して、紙芝居の読み聞かせをした後、四年生は、内容や登場人物の心の動きに

令和5年度
第16号
R5/12/18
CSデイルター
三浦

うことを確認し、自分たちの生活の中で、みんなが楽しく幸せに生活するために、どんなことをしたらよいかグループで話し合いました。

峰浜小学校

一年生 食育教室 (十一月二十九日)

二年期末の授業参観で、給食センター栄養教諭の佐藤紀美子先生が、講師を務めてくださいました。家で食べる食事や給食で食べている食品を「赤」「黄」「青」のグループに分けて、体を元気にする食事に分けて分かった。一年生は、参観している保護者の皆さんと一緒に食べ物働き別に分類し、食事の大切さについて勉強しました。

ネット・スマホ安全教室 (十一月二十九日)



四、五、六年生と保護者の皆さんを対象にして、ネット・スマホ安全教室が開かれました。北教育事務所の櫻庭主任社会教育主事が講師をしてくださいました。スマホ、ゲームのやり過ぎが、体や睡眠、心へ良くない影響を与える

こと、SNS投稿の危険性、トラブル防止のためのメディアとの上手な付き合い方について、分かりやすく話をしてくださいました。

六年生 いのちの授業 (十一月二十九日・十二月八日)

峰浜小学校

八森小学校

峰浜小学校と八森小学校の二年期末のPTA授業参観で、六年生の「いのちの授業」が行われました。「助産院」の小林かおり院長が講師を務めてくださり、赤ちゃんの誕生や性などについて、分かりやすく話してくださいました。



胎内で受精してから出産するまでの胎児の成長の様子をビデオを見たり、模型を使った小林先生の説明を聞いたりしながら、出産までの過程の大変さや、生まれてくることの尊さを学びました。

参観しているお母さん方も時々話しかけながら、お母さん方も、六年生と一緒に実際の重さの赤ちゃんの人形を抱いてみるなど、一緒に学習していました。

小林先生は、大人に近づく六年生に対して、体の変化や思春期についてや、「いのちを大切に生きる生き方」「自分らしい性」「気持ちは大切」についてのお話もしてくださいました。自分自身や友だちを大切にすることに学べることができました。